

歴史総合、日本史探究

【I】 次の生徒A・Bの会話文を読み、設問に答えなさい。

(資料)

著作権の都合により掲載いたしません。

【出典：『歴史総合 近代から現代へ』（山川出版社, 2024年）60頁】

A：この絵（資料）は有名なアヘン戦争の絵だね。アヘン戦争はイギリスと中国の清との間で起きた戦争だけど、イギリスはどのようにして遠い東アジアにまで進出してきたのかな？

B：イギリスは18世紀後半から産業革命が始まって積極的に植民地獲得に乗り出していて、インドやアジアへの進出も本格的に進めてきたんだ。

A：清は人口も多かったしアジアでは大国だけど、欧米との貿易を受け入れたの？

B：清は皇帝への朝貢として貿易を認めていて、18世紀の欧米ではお茶の消費が拡大していたから、イギリスは清から大量のお茶を輸入するようになったんだ。

A：その頃のイギリスは清との間でどのような貿易をしていたのかな？

B: ☐ X

A: アヘンが麻薬だとわかっていたのに清は対応しなかったの？

B: もちろん清もアヘンを禁止しようとしたんだけど、そのために広州に派遣された林則徐がイギリス商人のアヘンを没収したことがきっかけで戦争が起きたんだよ。

A: アヘンを禁止しようとして戦争が起きてしまったのね。イギリスは早くから工業化が進んでいて軍事力にも影響があったはずだし、この絵を見ても、イギリスと清との力の差は明らかなように思えるけど……^①

B: イギリスをはじめとする欧米では産業革命を経て蒸気機関の利用が普及して、19世紀のはじめには交通手段にも用いられるようになっていたからね。これだけの差があったらアヘン戦争がイギリスの勝利で終わって不平等な条約が結ばれたのはわかるよね。

A: うん、アヘン戦争やその後の第2次アヘン戦争での敗北後、清には重い負担が課されたよね。当時の清の人々は不満に思わなかったのかな？

B: 戦争による増税や銀の価格上昇による負担の増加によって清の民衆の生活は圧迫されたから、民衆の不満は高まったよ。そういう民衆の不満を受けて、キリスト教の影響を受けた洪秀全は1851年に挙兵して太平天国を建て、満州人の清朝を倒して新しい国家をおこすことを呼び掛けたんだ。その後、☐ Y

A: 良くも悪くも欧米の影響によって清は大きく変化していったのね。ところでアヘン戦争の頃の日本はどんな時代だったのかな？

B: アヘン戦争は1840年に始まったから日本では江戸時代の末期だけど、対外関係でいえば18世紀末頃からロシアから通商を求める使節がたびたび来航したり、イギリス軍艦フエートン号が長崎湾に侵入したりする事件があって、しだいに対外的な緊張は高まっていた時期だよ。

A: 当時の日本は鎖国を維持していたはずだけど、ロシアやイギリスの船が日本近海に来るようになったら無視はできないよね。

B: 1820年代以降にはアメリカ船も日本近海で活動するようになって、その乗組員が水や食料などを求めて日本に上陸する事態も発生したからね。

A：欧米から通商を求めてプレッシャーをかけられ続けたのね。

B：うん、それでアヘン戦争でアジアの大国である清が劣勢であることが日本に伝わると、幕府は日本が欧米からの軍事攻撃を受けてその威信が傷つくことを恐れてそれまでの政策を転換したんだよ。^②

A：でも長年続けてきた鎖国は急にやめられないよね。開国に反対する人も多そうだし。

B：そうだね、1853年にペリーが来航して、1854年には日米和親条約が結ばれてアメリカ船の下田・箱館への寄港などは認めたけど、国書で求められた通商はこのときはまだ認めなかったんだ。

A：通商を認めなかったということは、その時点では完全に開国したわけではなかったのかな？

B：そうだね、その後、第2次アヘン戦争の戦況をハリスから知らされた幕府は1858年に日米修好通商条約を締結したんだけど、通商を認めることは明確に鎖国を放棄することになるから、このとき朝廷は条約を結ぶことを許さなかったんだ。それで尊王攘夷派の動きが活発になって、幕府はさらに追い込まれていくんだよ。

A：朝廷の反対を押し切って日米修好通商条約を結んだ井伊直弼は、尊王攘夷派を弾圧したけれど、それが天皇をないがしろにしたとして反発を招いて、水戸脱藩の志士達に桜田門外の変で暗殺されるんだよね。

B：桜田門外の変の頃は、水戸藩だけでなく薩摩藩や長州藩でも尊王攘夷の傾向が強かったんだけど、Z

A：その頃には幕府の権力は弱まっていたけれど、幕府は公武合体を目指して改革を進めたんだよね。

B：うん。それに対して長州藩は1864年には勢力を回復しようとして京都で幕府側と戦ったりしたりもしたけれど、列強から下関砲台への攻撃を受けて攘夷が不可能であることを悟ったんだよね。

A：戦えば実力の差がわかるものね。それで開国進取に転換した長州藩と薩摩藩は薩長同盟を結んで、明治維新に向かっていったのね。

設 問

1. イギリスと清との貿易に関して、会話文中の ☒ X ☐ に当てはまる文章として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 ☐ 1 ☐

ア. イギリスは工場制機械工業によって大量の綿製品を製造して清に輸出することによって貴重な銀を獲得することに成功したんだよ.

イ. お茶の対価として銀が流出するのを避けるために、植民地のインドでアヘンを栽培させて中国に持ち込んだんだよ.

ウ. イギリスは中国では禁止されていた麻薬のアヘンを清で栽培させてイギリスに密輸したんだよ.

エ. イギリスは植民地のインドを通して工業製機械工業によって大量に製造した綿製品を清に輸出する三角貿易をおこなっていたんだよ.

2. 下線部 ① に関連して、資料の絵からわかることとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 ☐ 2 ☐

ア. イギリスは汽走軍艦を含む艦隊で中国側の木造帆船(ジャンク)を攻撃している.

イ. イギリスの木造帆船(ジャンク)に対して中国側は大砲で攻撃して対抗している.

ウ. イギリス軍は狭い湾内や河川で自由に動ける帆走艦を駆使して中国側を攻撃している.

エ. イギリス側も中国側もどちらも汽走艦で戦っている.

3. アヘン戦争後の中国でのできごとに関する説明として、会話文中の Y に当てはまる文章として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 3

ア. 太平天国は満州により近い北京を占領したんだよ。それで清朝は急激に力を失って漢人官僚が力を持つようになったんだ。

イ. 太平天国に危機感を抱いた清朝は欧米諸国に救援を要請し、太平天国の乱は早々に鎮圧されたんだよ。欧米に借りを作った清朝は1860年に北京条約を結んで天津や漢口を開港したんだ。

ウ. 曾国藩や李鴻章などの漢人官僚が中心となって清朝の正規軍を立て直すことに成功して、太平天国を滅ぼすことができたんだ。彼ら漢人官僚はその後清朝で勢力を拡大し、洋務運動と呼ばれる近代化運動を進めて中国は近代化に成功したんだよ。

エ. 太平天国と戦っている間に第2次アヘン戦争も起きて、清朝は苦境に陥ったんだ。第2次アヘン戦争後の1860年の北京条約で欧米の要求を受け入れて、欧米の助けを得ることができたんだ。

4. 下線部②に関連して、アヘン戦争の影響でそれまでの政策を転換して新たに出された政策として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 4

ア. 禁教令

イ. 寛政異学の禁

ウ. 異国船打払い令

エ. 天保の薪水給与令

5. この時期の日本と外国との関係に関して、会話文中の Z に当てはまる文章として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 5

ア. 長州藩は、関門海峡を通過する外国船を砲撃し、四国連合艦隊に打ち勝ったことから尊王攘夷派がさらに勢力を拡大したんだよ。

イ. 15代将軍となった徳川慶喜は、オランダから顧問団を招いて横須賀に造船所を設けるなどして軍事力の洋式化を推し進めたことから、尊王攘夷派は対抗するのを諦めたんだ。

ウ. 薩摩藩は、生麦事件でイギリス人を殺害した報復として鹿児島湾でイギリス艦隊と交戦したけれど、それをきっかけにイギリスと良好な関係を築いたんだよ。

エ. 幕府は、長州征伐をおこなって尊王攘夷派を抑え込むのに成功し、開国が着々と進められていったんだ。

【Ⅱ】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

7世紀後半以降、日本では中国の律令制度を取り入れながら、天皇を中心とする国家体制の構築が進められた。以下では、日本における律令国家の形成期についてみていきたい。

645年、皇極天皇の息子である中大兄皇子は、中臣鎌足らと協力して蘇我蝦夷・入鹿親子を滅ぼした。その後、皇極天皇の譲位を受けて即位した孝徳天皇は、翌646年に公地公民制や戸籍・計帳の作成、統一税制等の方針を打ち出した^⑥を宣布するなど、天皇中心の中央集権国家を目指す政策を進めた。これら一連の改革を、大化の改新と呼ぶ。

孝徳天皇の死後、皇極天皇が重祚した斉明天皇によって朝鮮半島に軍が送られるも、663年に唐・新羅の連合軍に大敗した。この敗戦を受け、九州などでは唐・新羅の進攻に備えた防衛政策が進められた。① 斉明天皇の死後は中大兄皇子が皇太子のまま政治を行い、668年に近江大津宮で即位して天智天皇となった。

② 天智天皇が671年に亡くなると、皇位継承争いに勝利した大海人皇子が673年に天皇に即位し、天武天皇となった。さらに天武天皇の後を継いで690年に即位した持統天皇は、飛鳥浄御原令の施行や藤原京の造営など、律令体制の基礎を固める政策を実施した。飛鳥浄御原令の内容に関しては不明瞭な点が多いものの、③ 701年に刑部親王や藤原不比等らが制定した^⑦の基礎となったと考えられている。この時期の律令国家では民衆に^④口分田が班給された一方、^⑤租・庸・調等の税や労役等が課せられることとなった。

710年には元明天皇が藤原京から平城京への遷都を実施し、後に^⑥奈良時代と呼ばれる律令国家の発展期に入った。この時代は人口が増加した一方で^⑦皇族や貴族らによる政争や飢饉・疫病などの問題が多発し、政府はその対応に追われることになった。特に飢饉時には田地を捨てて逃亡する民衆も多く、政府は人口増加にともなう口分田の不足を補うため、^⑧開墾を奨励する様々な政策を打ち出すこととなった。

設 問

1. 文中の空欄 ～ に入る語として適切なものを，選択肢から1つ選び，その記号をマークしなさい。

ア. 憲法十七条 イ. 改新の詔 ウ. 養老律令 エ. 近江令

ア. 御成敗式目 イ. 懷風藻 ウ. 大宝律令 エ. 万葉集

2. 下線部 ① に関連して，このときの防衛政策についての説明として適切なものを，選択肢から1つ選び，その記号をマークしなさい。

- ア. 唐や新羅の進攻に備え，対馬や隠岐には勘解由使と呼ばれる警備隊が置かれた。
イ. 多賀城と呼ばれる軍事拠点が九州の要地に設置され，外敵の侵入に備えた。
ウ. 九州沿岸部に蝦夷と呼ばれる兵士が配属され，警備を行った。
エ. 防衛のため，石垣や土塁で築いた朝鮮式山城が，西日本各地の要所に設置された。

3. 下線部 ② に関連して，天智天皇の行った政策についての説明として適切なものを，選択肢から1つ選び，その記号をマークしなさい。

- ア. 氏姓を正す基本台帳として，最初の戸籍である庚午年籍を作成した。
イ. 唐の開元通宝を模倣し，全国共通の錢貨である和同開珎を鑄造・流通させた。
ウ. 八色の姓を制定し，天皇を中心とする身分制度の中に豪族を段階的に位置づけた。
エ. 中国東北部に建国された渤海と交流し，絹織物などを輸入した。

4. 下線部③に関連して、この時期の律令体制の説明として適切でないものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 10

ア. 中央行政組織として、行政をつかさどる最高官庁である太政官と祭祀をつかさどる神祇官が置かれた。

イ. 貴族による専制を避けるため、官職において両親の位階ではなく本人の能力に応じた官位を与える「蔭位の制」が実施された。

ウ. 九州北部に、西海道を統括する大宰府を設置した。

エ. 全国を畿内・七道に区分し、各地を国・郡・里(後に郷)を編成して統治した。

5. 下線部④に関連して、班田収授法における口分田の説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 11

ア. 田地を班給されるのは20歳以上の男子のみであり、女子には与えられなかった。

イ. 60歳以上の民は田を耕すことができないとみなされ、田地を国家に没収された。

ウ. 田地を班給されるのは良民のみで、奴婢が田地を所有することはできなかった。

エ. 田地は縦横それぞれ6町(約650m)ごとに区分けする条里制に基づいて班給された。

6. 下線部⑤に関連して、養老令における税および労役の説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 12

ア. 租とは田地1段につき収穫の約3%の稲を納めるものをいう。

イ. 庸とは絹や海産物などの地域の産物を納めるものをいう。

ウ. 調とは都などで行う歳役の代替として、麻布等を納めるものをいう。

エ. 雑徭とは各地で徴収した税等を都に運搬する労役のことをいう。

7. 下線部⑥に関連して、奈良時代の制度・政策の説明として適切でないものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 13

- ア. 錢貨の流通を図るため、蓄錢量に応じた位階を授ける蓄錢叙位令が発せられた。
- イ. 平城京は唐の長安を模して条坊制で区画され、左京・右京に設けられた市を市司が監督した。
- ウ. 菅原道真の進言により、遣唐使の派遣が中止された。
- エ. 九州南部の隼人と呼ばれる人々の反乱を鎮圧し、服属させて支配下に置いた。

8. 下線部⑦に関連して、奈良時代に発生した政争や飢饉・疫病などの問題についての説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 14

- ア. 藤原鎌足の息子である藤原不比等は、自身の娘を天皇に嫁がせ権力を握ろうとしたが吉備真備らによって阻止され、官位を剥奪された。
- イ. 天武天皇の孫である長屋王は左大臣となって政權を握ったが、これを疎ましく思った橘諸兄によって暗殺された。
- ウ. 疫病の流行等に対し、仏教による鎮護国家の思想のもと、大仏の造立や国分寺・国分尼寺の建設が行われた。
- エ. 災厄が続く社会の安定を図るため、称徳天皇の支持を受けた西行を中心に、西大寺の造営や百万塔の製作が進められた。

9. 下線部 ⑧に関連して、奈良時代に行われた開墾奨励政策の説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 15

- ア. 開墾した土の田地の私有を永年に認める墾田永年私財法により、貴族・豪族の私有地拡大に歯止めがかかり、政府の税収は増加した。
- イ. 農民が経済的に困窮せず安心して農業に従事できるよう、民衆間の借金を無効にする徳政令を発布した。
- ウ. 惣と呼ばれる村落共同体の設置を勧め、惣ごとにまとめて年貢を徴収することで個々の農民の負担を減らす「地下請(村請・百姓請)」が行われた。
- エ. 723年に施行された三世一身法により、新たに灌漑施設を設けて農地を開墾した者は3世にわたって田地の保有を認められることとなった。

【Ⅲ】江戸時代の文化について、以下の各問いに答えなさい。

1. 人形浄瑠璃作家で『曾根崎心中』や『国性爺合戦』の作者として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 16

ア. 竹本義太夫 イ. 近松門左衛門 ウ. 井原西鶴 エ. 河竹黙阿弥

2. 浮世絵師で『東海道五十三次』を描いた人物として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 17

ア. 狩野探幽 イ. 歌川広重 ウ. 渡辺崋山 エ. 菱川師宣

3. 京都の町人で心学をおこした人物として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 18

ア. 石田梅岩 イ. 安藤昌益 ウ. 渋沢栄一 エ. 山県大弼

4. 装飾性に富む画風で『紅白梅図屏風』、『燕子花図屏風』を描いた画家・工芸家として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 19

ア. 狩野永徳 イ. 野々村仁清 ウ. 尾形光琳 エ. 長谷川等伯

5. 国学者で『雨月物語』の作者として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 20

ア. 鶴屋南北 イ. 為永春水 ウ. 塙保己一 エ. 上田秋成

6. 寛政期に美人画を描いた浮世絵師として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 21

ア. 東洲斎写楽 イ. 池大雅 ウ. 円山応挙 エ. 喜多川歌麿

7. 古典研究を進め、復古神道を主張した『古事記伝』、『源氏物語玉の小櫛』の著者として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 22

ア. 本居宣長 イ. 緒方洪庵 ウ. 賀茂真淵 エ. 中江藤樹

8. 『南総里見八犬伝』、『椿説弓張月』の作者として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 23

ア. 十返舎一九 イ. 式亭三馬 ウ. 曲亭馬琴 エ. 柳亭種彦

9. 信濃の百姓である俳人で『おらが春』の作者として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 24

ア. 与謝蕪村 イ. 小林一茶 ウ. 良寛 エ. 松尾芭蕉

10. 地理学者で全国の沿岸を測量し、『大日本沿海輿地全図』の作成にあたった人物として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 25

ア. 渋川春海 イ. 伊能忠敬 ウ. 佐久間象山 エ. 平賀源内

(問題終わり)